

第19回「よさこい津軽」開催要綱

1. 目的

(1) 地域経済の活性化

弘前市には「さくらまつり」や「ねぶたまつり」などの全国的に有名な四季折々の祭りがある。ただ、祭りの端境期には街が閑散とする感が強く、その端境期に新たなイベントを創造し、地域経済活性化の起爆剤とする。

(2) 新たな人のつながり、文化の交流を創り出す

社会人、学生、児童が共通の目的を持って自主的に組織や踊りを作り上げ、練習に励み、「よさこい津軽」に参加することで“成し遂げる喜び”を得ることができる。さらには、話題を共有する人々が集うことで、新たな人のつながり・文化の交流を創り出すことができる。

(3) 東日本大震災復興祈願

このたびの地震で被災された方々、またその関係者の方々を勇気付け、元気を与えることができるように、復興への祈りを込めた演舞を披露する。

2. 主催 よさこい津軽実行委員会・弘前商業連合会

3. 日時 平成30年6月24日(日) 出陣式 午前9時30分～
(雨天決行) 開催時間 午前9時50分～午後3時30分
交通規制 午前9時00分～午後4時
(予定)

4. 会場 弘前市土手町通り及び3.3.2号線の一部(4会場)

5. 参加資格 上記開催目的に賛同するチーム

6. 基本ルール

- ①手に鳴子を持って踊ること
- ②衣装、振り付け、メイクは自由。

7. 使用する楽曲

- ①演奏時間は、4分30秒以内とする。
- ②既製の音源を使用する場合は、著作権上の使用手続きを済ませること。
- ③音響設備については、主催者側で準備します。

8. 踊りの形式 (※行政、警察の指導等により変更になることがあります)

- ①パレード演舞形式(70m×6m)
- ②静止型演舞形式(70m×6m)
- ③ステージ演舞形式(20m×10m)

9. 後援(予定)

弘前市、弘前市教育委員会、黒石市教育委員会、平川市教育委員会、板柳町教育委員会、田舎館村教育委員会、大鱒町教育委員会、西目屋村教育委員会、藤崎町教育委員会、弘前商工会議所、(公社)弘前青年会議所、上・中・下土手町商店街振興組合、土手町商店街振興組合連合会、(公社)弘前観光コンベンション協会、カルチャーロード実行委員会、青森放送(株)、(株)青森テレビ、青森朝日放送(株)、(株)東奥日報社、(株)陸奥新報社、アップルウェーブ(株)、(協)日専連弘前、弘前商工会議所青年部、弘前商工会議所女性会、(協)日専連弘前青年会、弘前建設業協会青年会、AOMORI花嵐桜組、弘前大学YOSAKOIサークルHIRODAI焰舞陣、極楽ほんず

10. 参考(第17回大会実績)

参加団体 29チーム
参加者数 678名

11. その他 リーフレットの制作はしません。